

2018年4月25日

日立オートモティブシステムズ株式会社

米国インディカー・シリーズ第4戦において、 日立契約ドライバーのジョセフ・ニューガーデン選手が優勝

日立オートモティブシステムズ株式会社(社長執行役員&CEO ブリス・コッホ/以下、日立オートモティブシステムズ)をはじめとする日立グループが、米国インディカー・シリーズでスポンサー契約を結んでいるペンシキーレーシングチーム所属のジョセフ・ニューガーデン選手は、米国アラバマ州バーミングハムのバーバー・モータースポーツ・パークで、4月22日(日)に開催された決勝レースの途中で雨天となり、4月23日(月)に順延された第4戦において、もちまへの集中力や判断力、テクニックを發揮し見事優勝を果たしました。

バーバー・モータースポーツ・パークは緑が豊かな丘陵地にあり、起伏に富んだ地形を生かして造られた、高速から低速まで様々なコーナーを備えたテクニカルサーキットで、このコースを舞台とした第4戦は全長約3.7kmのコースを全23台のレーシングカーが90周で争うレースです。4月21日(土)の予選においてジョセフ・ニューガーデン選手は巧みな走りにより僅差でチームメイトのウィル・パワー選手を上回り、ポールポジションを獲得しました。4月22日(日)の決勝では雨天により、追い越しが禁止される、セーフティカーの先導スタートとなりましたが、その後も悪天候のなか、相次ぐクラッシュによりレース継続が危険と判断され、ニューガーデン選手は翌日に順延された23周目からのレースをトップで再開することとなりました。

4月23日(月)の再レースでは、ドライコンディションのなかスタートしましたが、レース終盤には再び降雨によりコースが滑りやすくなるなど、ドライバーやチームにとって非常に戦術的なレース運びを要求される展開となりました。ジョセフ・ニューガーデン選手はハイレベルなマシンコントロールを保ちながら、残り15分でレインタイヤに交換したことが功を奏し、見事ポール・トゥ・ウィンを果たしました。

この結果により、年間チャンピオンシップにおいて、ジョセフ・ニューガーデン選手は2位から1位に順位を上げ、これからの13戦も全力をつくして年間チャンピオンシップ獲得をめざします。

日立オートモティブシステムズは今後も、インディカーレースをはじめとしたモータースポーツへのスポンサーシップを通じて、日立ブランドのさらなる浸透を図ると共に、モータースポーツの振興に貢献していきます。



雨の中疾走するジョセフ・ニューガーデン選手



トロフィーを手にするジョセフ・ニューガーデン選手(中央)

■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社: 東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル

事業内容: 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

以上